

ディスプレイ大手のスペース・佐々木社長

「(収益性、働き方の)同時発展を目指す」と話すのはディスプレイ大手、スペースの佐々木靖浩社長。

同社は23年12月期連結決算で売上高52

7億930

0万円(前

期比13・0

%増)、営

業利益25億

7400万円(22・8%増)

と、2ケタの増収増益で売上高

は過去最高となった。

コロナ禍からの回復期にあっ

て主力のSCで改装需要などを

捉えているためだが、今期は売



「社員負担かけずに利益は確保」

上高529億円(0・2%増)、営業利益26億5000万円(2・9%増)と慎重な目標を掲げる。これは「社員に負担をかけずに利益はしっかり確保」しようというもの。「ハードルを高くしてという考え方もあるが、達成が見込める設定にした」ともする。

25年度までの3カ年計画で300人の採用、1億円の社員教育投資、残業時間年間360時間への削減を掲げており、24年度には複線型人事制度の再構築や勤務形態の多様化にも取り組む。これらによる社内の活性化で収益性を高める構えだ。